

231106 石垣部会

名古屋市民オンブズマンによるメモ（途中まで）

写真撮影禁止（マスコミは冒頭のあいさつまで）

10:01

岡田：司会 保存整備室長

上田所長：おはよう

出席ありがとう

週末3連休 名古屋城1万人を超える

多々課題 コロナ開けて多い

引き続き魅力をご理解いただきたい

本丸搦め手馬出、周辺石垣対策

岡田：出席者紹介

北垣、赤羽、宮武、西形、

千田休み、梶原休み

愛知県

教育委員会

名古屋城

撮影これまで

会議次第、出席者、座席表

構成員には参考資料

北垣：本丸搦め手馬出

事務局

石山：事務局

工事においてジオテキスタイル 変更の必要性

栗石層の安定性のため

文化財保護+石垣安定性

詳細な検討 必要最低限

R4.7.15 石垣部会

R5.5.11 石垣部会 栗石が大きい より接触面積を広く

目合いを大きくできないか

★配布している参考資料をご覧ください

80×80mm 栗石層の安定性が確保できる

計算結果は割愛  
東 最下段 1枚  
北 2枚追加 60センチ間隔

10:16

北垣：質問は

宮武：標準設計基準  
マニュアル 対象は栗層？土？  
土盛り？裏栗石？

石山：土の裏栗部分

宮武：どういうこと？  
土なのか、礫層なのか  
性質が違う

岡田：施工マニュアル 盛り土、補強土壁  
背面は土

宮武：円弧滑り安全性  
城郭の石垣は円弧滑りではない

岡田：円弧滑り等地震時 検討  
同様に変形は軽微

宮武：順番に話しよう  
名古屋城 伝統技術とは違う補強  
他の城 参考事例になる  
文化財 最低限にしたい  
熊本城 ジオテキスタイル入れたのは栗の挙動を押さえる  
最低限のボリューム  
熊本で西形先生といっしょにやった  
円弧滑りは主目的ではない  
枚数を増やすのは方向性が違うと思う  
挙動を抑制する  
目が狭いと接触点が減る 相互のかみ合いも減る？  
土木ののり面 安定

土ですか？石ですか？

西形：ジオテキスタイル 正しくはジオグリット

テキスタイルは布

土というと中途半端 非粘性材料 砂質土

粘土には基本的に使えない

栗は砂質土 粘着性がない

間違ってはいない

円弧滑りかどうか

ジオテキスタイルの役目 栗の地震時の運動を止める

マニュアル 円弧滑りの方法を技術的に使っている

ジオテキスタイルが切れないか 引き抜けないか

栗の安定性を高める本来の役目

現在の設計法では説明がつかない

一般的な砂質土

滑りに抵抗する

設計法を使えば十分安全

本来 栗の安定性を保つ

熊本でも意識